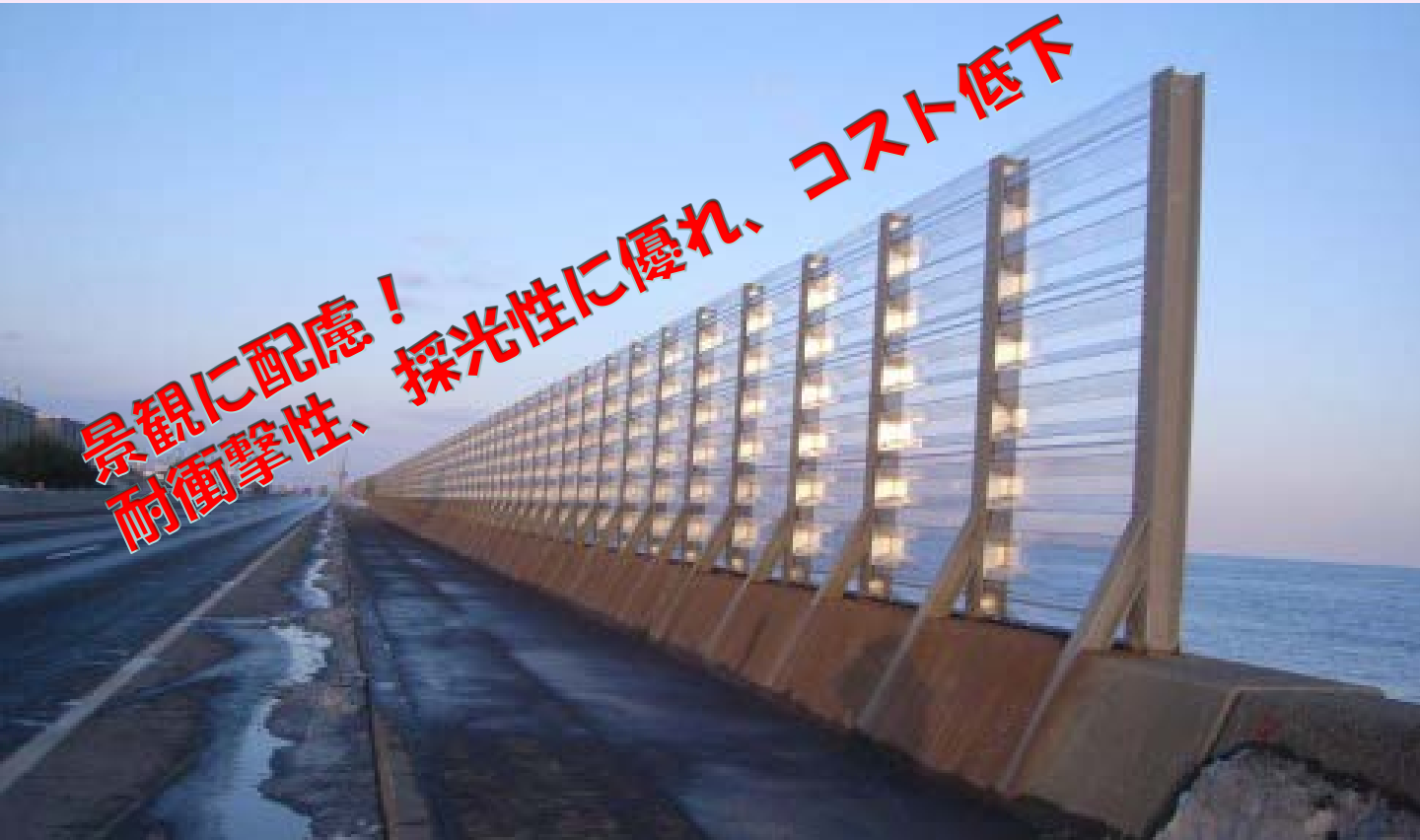


# ～越波防止柵～



景観に配慮！  
耐衝撃性、採光性に優れ、コスト低下

## ■技術の概要

海岸沿いの道路では、天候の影響により越波が発生することがあり、それに伴う交通規制によって、地域生活や産業活動に支障をきたすことがあります。このような越波作用に対して、円滑な道路交通を確保するための対策の一つとして、道路沿いに設置する越波防止柵があります。一般的には、鋼製の支柱と有孔鋼板を組み合わせたものが用いられていますが、周囲の視界を遮り景観に配慮するような場合には好ましくありません。そこで、耐衝撃性や採光性に優れ景観にも配慮でき、コスト的にも従来のものより安価な越波防止柵を開発しました。

この越波防止柵は、耐衝撃性・耐候性に優れた両面耐候処理された透明なポリカーボネート板を用い、作用荷重の大きさによって、より経済的となる板厚・形状寸法を決定した折板形状とすることによって、大きな越波荷重にも耐えうる構造としています。また、ポリカーボネートの平板を採用した場合と比較すると、板厚を極端に薄くすることが可能となり、材料コストを縮減することが可能となりました。

ポリカーボネート自体は樹脂であり比較的柔らかい素材であることから荷重作用により変形が生じるため、折板端部の固定方法によっては固定部からのひび割れや破損を起こす場合があります。この点を解消するため、固定部分はポリカーボネート折板を金物により面的に挟み込み、折板の傾斜部中央を貫通ボルトで固定する構造としています。



【越波の状況】



【載荷試験の状況】

特許：第5110501号

NETIS登録：HK-070004-VE 透光防波柵（ポリカーボネート折板）

# ～越波防止柵～

## ■適用による効果

### 耐衝撃性に優れる

越波や飛石による破損がなく、耐衝撃性に優れています。

作用荷重の大きさによって、より経済的な板圧・山高・山間隔を決定し、折板形状にすることにより、大きな越波荷重にも耐えることができます。

### 耐候性に優れる

両面耐候処理された透明なポリカーボネートパネルを使用しています。従来工法（有孔鋼板）と比較し、腐食の問題がありません。

### 採光性に優れる(景観への配慮)

透明なポリカーボネートを使用しているため、有孔鋼板に比べ景観阻害がなくなります。また、透光性のため融雪を阻害しません。

### 作業性向上

素材が樹脂のため軽量であり、パネル化により施工性に優れています。

### コスト縮減

折板形状にすることにより、ポリカーボネート平板より板厚を極端に薄くすることが可能となり、材料コストを縮減できました。

## ■適用実績 一般国道36号白老町や一般国道229号島牧村などで施工され、効果を発揮しています。

